

平成28年度 第21回 神奈川県弁護士会人権賞 受賞決定者

1	石山 春平	略歴	昭和11年静岡県で出生し、小学校6年生でハンセン病と診断。同27年に療養所に強制入院させられ、同43年に社会復帰し、同45年に結婚して3子をもうける。ハンセン病の差別・偏見に対して、実名で社会に訴えるとともに、地域の障がい者活動のリーダーとして活動。
		表彰事項	①横浜市内の小・中学校に出向き、ハンセン病の経緯や差別・偏見についての説明を行う。 ②横浜市主催の「人権講演会」や、川崎市主催の「川崎市人権学校」等で、社会人に対しても、ハンセン病の経緯や差別・偏見についての講演を行う。 ③厚生労働省健康局が「ハンセン病問題に関する検証会議」に委託した再発防止検討調査事業に、療養所退所者としてヒアリングに協力した。 ④札幌弁護士会等が主催した、ハンセン病問題を扱った映画「あん」の無料上映及びトークイベントで講演した。 ⑤財団法人川崎市障害者協会理事として、2015年度の公益、収益、法人各事業に貢献した。
		推薦理由	ハンセン病の差別・偏見に対して、実名で社会に訴える講演会等を行い、地域社会の障がい者活動のリーダーとしても活躍しているため。
2	山村 淳平	略歴	・1990年代に、アジア・アフリカで被災民及び難民への医療支援 ・2000年から、日本の移民・難民の医療 ・2007年「壁の涙」(現代企画室)編著 ・2010年「難民・移民の病をふせぐ」著 ・2015年「難民からまなぶ世界と日本」著
		表彰事項	移民・難民への医療支援及び日本における移民・難民の人権状況の周知活動等への取り組み。
		推薦理由	移民・難民問題は、世界的に問題となっているが、日本はそれ以前の状況であり、候補者の活動は非常に意義ある活動であるとともに、今、私たちが考え、行動しなければならないことでもある。